



アクションを
起こした者勝ち

Kosuke Noda
野田 浩輔 さん
杵築市大田、27歳。おた
青年会副会長。菓タパコ生
産・九州・沖縄地区農業青
年クラブ連絡協議会長。
若い世代が中心となり、農
業で雇用を増やしたい。



時代に
合わせたもの
をつくりたい

Sawa Imamura
今村 佐和 さん
杵築市、40歳。お茶処とま
やの若おかみ。ポーセラ
ーツを勉強中。3児の母。杵
築市の自慢は、子育て支援
が充実していて子どもと
さんの家庭が多いこと。



住みたくなる
町づくりが大事

Yoshinori Fukuroi
袋井 義範 さん
杵築市、49歳。杵築市建設
課主管理都市計画・公園
緑地係長。1988年入庁。
住民主体の町づくりを確
立し、産業間連携を強めて
杵築市を活性化したい。



奈狩江の活気
取り戻したい

Toshihiko Sasaki
佐々木 寿彦 さん
杵築市、41歳。日向屋代表
取締役。杵築市は力キ、ハ
モなど海産物が豊富。天神
祭の山車のけんかや人の
温かさ自慢。郊外の個人
商店の吉戦が気掛かり。



冬場にもうける
方法考える

Yukio Sato
佐藤 幸生 さん
杵築市山香町、33歳。農
事組合法人こめ・こめ・く
らぶ。米とシイタケを作っ
ている。冬場の収入源と
して、シイタケの観光農園
を企画しているところ。



誇りがあれば
やる気が出る

Ryoike Shimomura
下村 亮介 さん
杵築市、41歳。護町会・城下
町地区まちづくり協議会
長。下村時計店。伝統や文
化と日々の生業が共存し
ている大好きな杵築を守
り、子どもに引き継ぎたい。



付加価値付ければ
高く売れる

Kenji Oga
大神 健二 さん
日出町、45歳。分岐開発、
JR九州ファーム大分代表
取締役社長。1992年JR
九州入社。事業を通して
多くの人を幸せにできる
人物になりたい。



失敗を
重ねながら形に

Gentaro Goto
後藤 源太郎 さん
杵築市、39歳。若菜屋16
代当主。大学卒業後、県内
のホテル勤務を経て
2005年に若菜屋へ。お取
り寄せ事業や観光業に取
組み、店や地元をPR。



要は気持ち

Kazuyuki Mori
森 和之 さん
杵築市、36歳。森農園で
ミカン生産や梅加工を手
掛ける。杵築柑橘(かんき
つ)研究会青年部長。農家
を育てる農家として、地域
の産業を支えたい。



農業が潤えば
地域が生きる

Atsuyuki Nakano
中野 淳之 さん
杵築市、34歳。中野酒造専
務。大学卒業後、大阪府の
会社勤務を経て2007年
中野酒造入社。10年から酒
造りの現場で修業中。杵築
の文化と町並みが自慢。



杵築をリアル
な江戸村に

Takanori Miura
三浦 孝典 さん
杵築市、43歳。杵築市親
善協会事務局長。東京都
出身。サンリオピューロ
ランドの運営会社を経て、
2011年に民営化後初の
事務局長に就任した。



質の高い
観光地目指して

Shiho Otsuka
大塚 史穂
2000年入社。整理部、経
済部、報道部を経て整理
部。37歳。10年後にまた杵
築を訪れてみたい。ハッ
ピーの種から芽が出て、花
開いているのを見たい。



新しい
チャレンジに
期待

Masahiko Tajiri
田尻 雅彦
1998年入社。社会部、臨
海支局、日出支局、別府支
社、報道部を経て別府支
社編集部。39歳。住み慣れた
地域で豊かに暮らすため
には、杵築の挑戦に注目。



いいメッセージを
たくさんもらえた

Masanori Kira
吉良 政宣
2003年入社。社会部、中
津支社、政治部、報道部、
地域報道部を経て報道
部。35歳。前向きで郷土愛
あふれる杵築の皆さんに
パワーをいただきました。



点じゃなく
線で頑張ってる

Kana Sonoda
蘭田 花奈 さん
大分市、24歳。JTB九州大
分支店営業課。法人や団
体の営業を担当し、旅行
の派手もする。熊本市出
身。杵築市は城下町を藩
物で歩ける素敵な場所。



酪農家のストーリー
伝えたい

Shuichi Tabata
田畑 修一 さん
杵築市山香町、33歳。畜
産業(乳牛)を営む。就農
12年目の「楽」農家。県産
業教育振興会常務理事、
県酪農青年女性会議事務
局長などを務めている。



6次産業の
概念が変わった

Hiroaki Matsui
松井 博昭 さん
杵築市、36歳。杵築市農
林課農政係主査。大分市
出身。2000年入庁。体育
保健課、介護保険係を経て
現職。集落営農組織の
発展を支えている。



文化財と生活の
共存考えて

Motoki Sato
佐藤 基喜 さん
大分市、28歳。豊後大野市
出身。大分ベンチャーキャ
ピタル投資事業部サプ
マネージャー。2008年大分
銀行入行。農林水産加工品
のブランド化に関心あり。

ハピカム

ミライデザイン会議

出る杭になっちみつかえ

大分合同新聞社が、「地域や人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いで2011年にスタートさせたプロジェクト・ミライデザイン会議「ハピカム」。第11弾となる杵築市編が6月14日、同市のきつき生涯学習館などであった。武家屋敷や石畳の坂道など江戸時代の情緒を残した城下町の町並みがあり、海山の幸にも恵まれた同市。将来を担う若手リーダーと同世代の大分合同新聞社員らが、分科会と総括会議を通して白熱した議論を交わした。「1次産業(コーディネーター/吉良政宣)」、「観光(コーディネーター/大塚史穂)」、「新興力(コーディネーター/田尻雅彦)」の3分科会にはそれぞれ、関連する現場で活躍する若手リーダーが4人ずつ出席。外部アドバイザーやコーディネーターの記者と共に地域の未来について語り合った。分科会の内容をテーマごとに紹介する。総合アドバイザーは大分大学工学部助教の姫野由香氏。総合コーディネーターは帆足朋成・大分合同新聞社報道部長。

主催/大分合同新聞社 共催/杵築市 杵築市商工会 協賛/国立大学法人 大分大学 (株)大分銀行 (株)NTTドコモ 日本たばこ産業(株)熊本支店 大分農業文化公園

総合アドバイザー	総合コーディネーター
Yuka Himeno 姫野 由香 さん 大分市、39歳。大分大 学工学部助教、工学博 士。専門は建築、都市 計画。景観創造、景観 維持を中心に、自主的 な地域運営についても 研究している。	Tomonari Hoashi 帆足 朋成 1991年入社。経済部、 日田支社、政治部、文化 部、文化科学部を経て 報道部長。47歳。「やっ てみよう。未来を築く 杵が高く振り上げられ たと実感した。
総括会議の様子は7月5日(土)の朝刊をご覧ください。	
ウェブ http://www.oita-press.co.jp	3x3x3 http://www.oita-press.co.jp/h-come/

※掲載日は2014年6月14日当時

感動を、 シェアしたい。

夢を共に分かちあう。厳しさを共に実感する。

長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を超え、何としてもお役に立ちたいという、

執念に近い情熱。アイデアにあふれ、期待に応える提案。

また、ひとりの人間としての信頼。そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功と共に喜び、

「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。

大分銀行

